

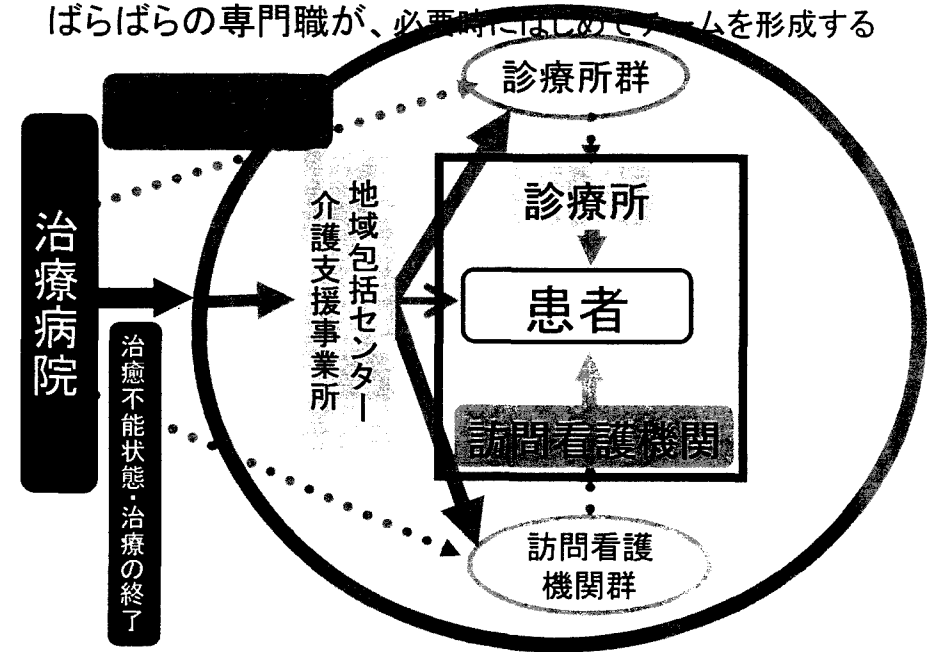
在宅緩和ケアにおける チームケアの問題

— 事例を通して、これからを考える —

緩和ケア診療所(PCC) 連絡協議会
14診療所

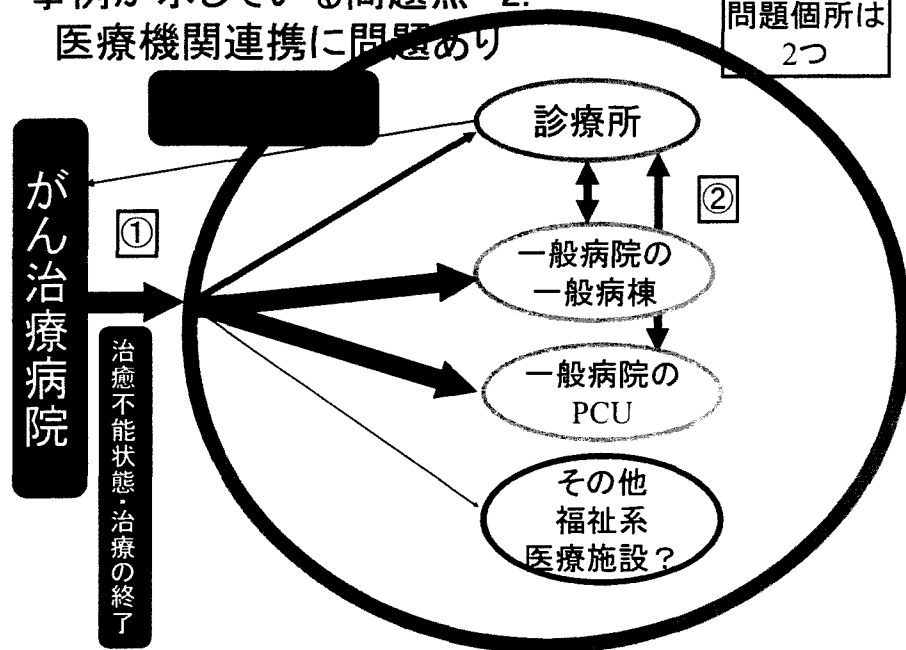
クリニック川越・院長 川越 厚

事例が示している問題点 1.
ばらばらの専門職が、必要時にはじめてチームを形成する



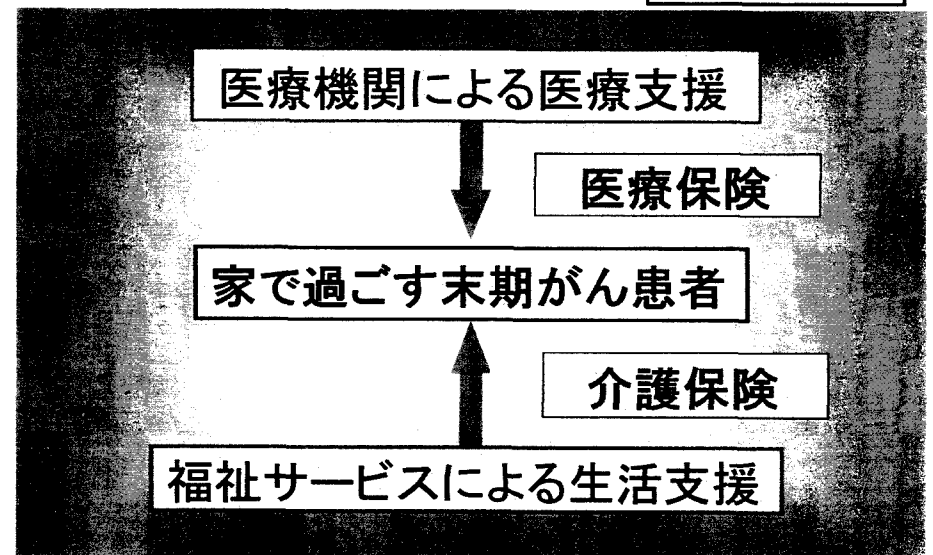
事例が示している問題点 2.
医療機関連携に問題あり

問題箇所は
2つ



事例が示している問題点 3.
医療と福祉の連携の問題

問題は
制度的に
別建てだということ



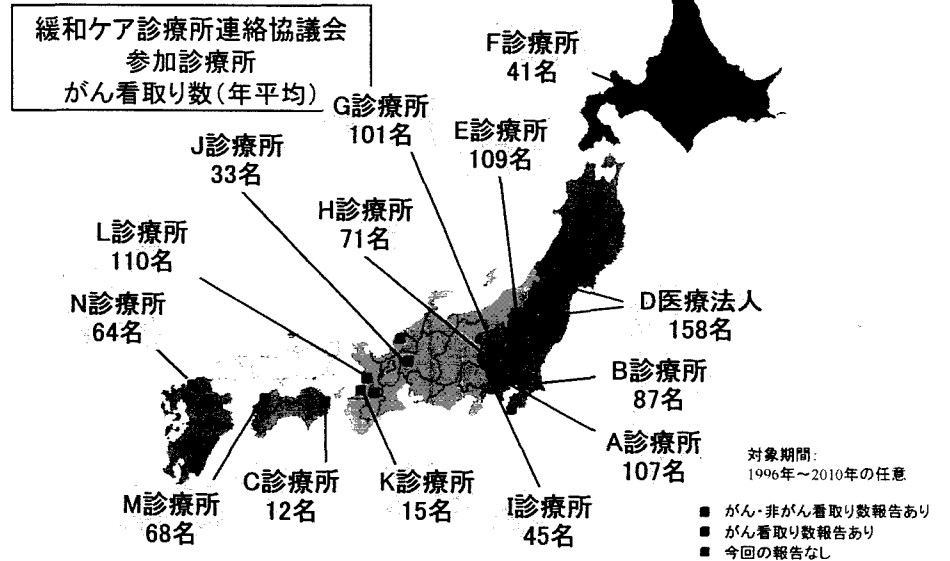
事例が示している問題点 4.
 困難事例の増加: 現在のままの Team Approach
 では、在宅はますます難しくなる



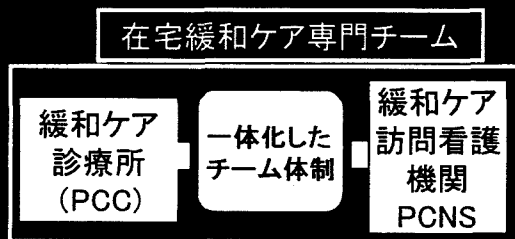
67歳 女性 胃がん 独居

困難事例への
 対応は、
 現在の
 Team Approach
 のままでは
 今後
 不可能になる
 可能性が高い

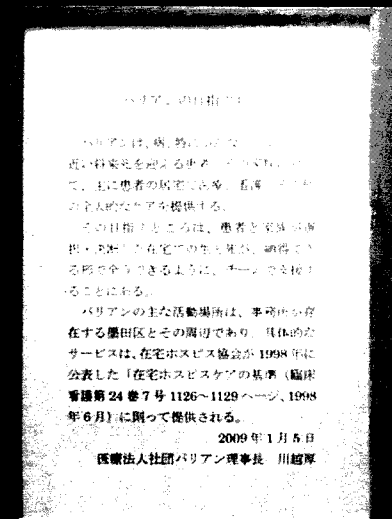
TCの在り方からみた、これからの方向性を探る
 専門チームで在宅緩和ケアを提供する



在宅緩和ケア専門チームの
 基本的枠組み



一体化したチーム体制とは 1
 チーム理念を共有していること



医療法人ハリアンの場合

一体化したチーム体制とは 2 看護師・医師でパスを共有していること

末期がん患者に対する
医療行為に関する指示書

訪問看護パリアンへの
事前約束指示

クリニック川越院長
川越 厚
(2007年7月20日作成)

医療法人パリアンの場合

一体化したチーム体制とは 3 看護師・医師との協働による24時間対応

患者・家族

①

②

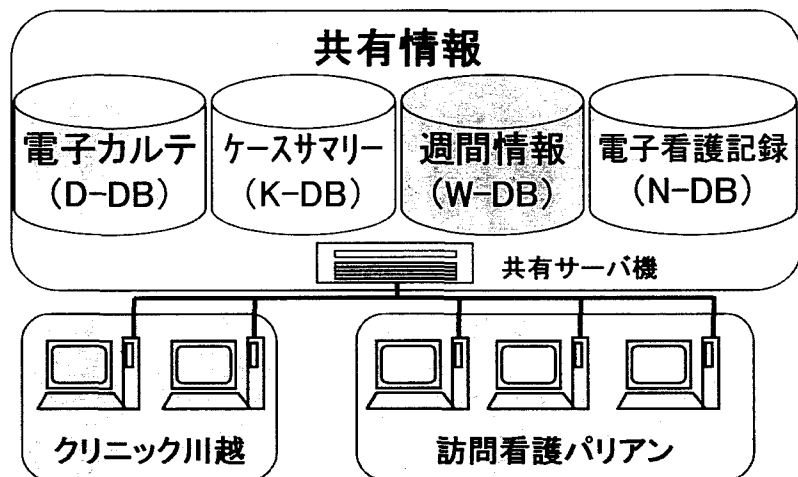
③

医師

⇒ 確実・迅速な「24時間ケア」を提供する

医療法人パリアンの場合

一体化したチーム体制とは 4 診療情報を看護師・医師で共有していること



医療法人パリアンの場合

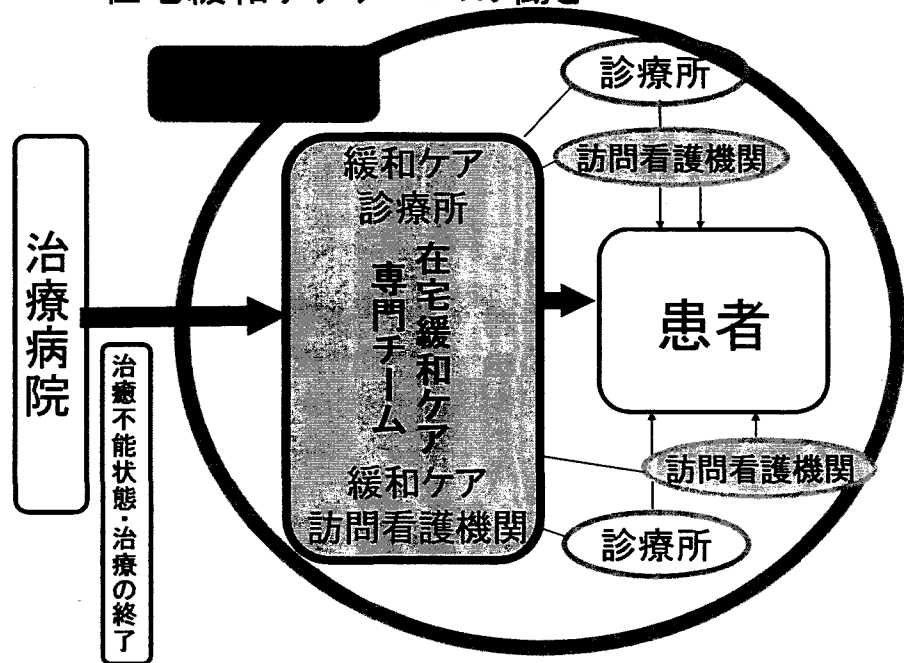
一体化したチーム体制とは 5 定期的にケースカンファレンスを開いていること



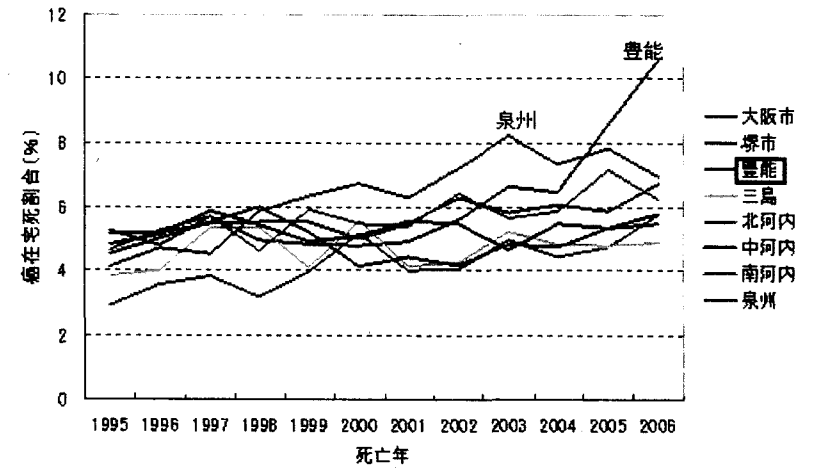
医療法人パリアンの場合

在宅緩和ケアチームの働き

一体化した効率性の高いチームとは

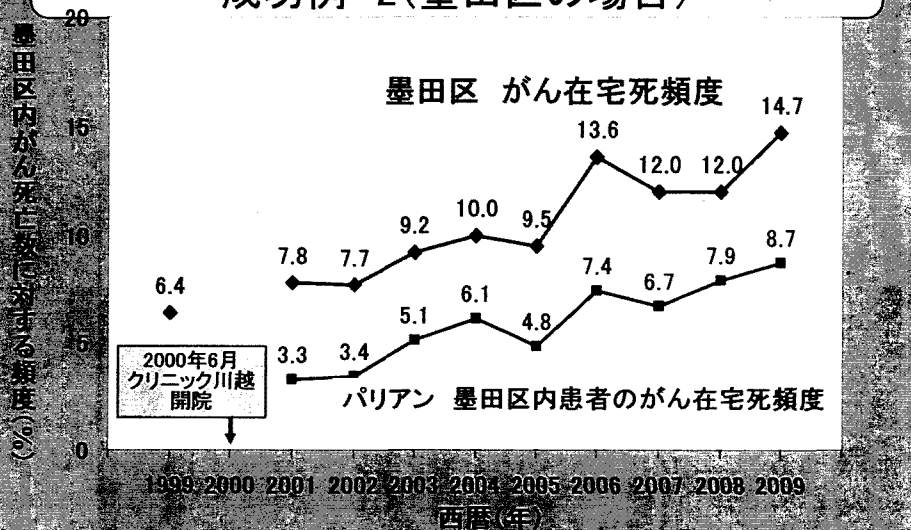


在宅緩和ケア専門チームの成果 成功例1 大阪府二次医療圏別に見た 癌在宅死割合の推移



千里ペインクリニック(豊中市)は2004年に開業、豊能地区を中心に活動を行っている

在宅緩和ケア専門チームの成果 成功例 2(墨田区の場合)



※2009年の墨田区データは暫定数

まとめ: 事例を通して、
これからの在宅緩和ケアチームを考える

- 緩和ケアにおける在宅の目的の明確化
目的を実現するための、チームケアの推進
成果を尺度とした、チーム評価の推進
- パラダイムの変換・制度改革をも視野に入れる
 - 1) 一体型在宅緩和ケアチームの推進
 - 2) 医療と福祉の、より実効性ある連携の推進
 - 3) TCをやりやすくする介護保険の見直し
 - 4) 病院と在宅の連携の見直し
- 結語: 緩和ケア専門チームを地域に育てていく